

第79回北日本病害虫研究発表会

場所 岩手県盛岡市 「盛岡市民文化ホール（マリオス）」

◆研究発表会日程◆

受付は2月18日（水）、19日（木）ともに
9:30から1階小ホール前で行います（開場9:00）

口頭発表 1階小ホール

2月18日（水）10:00～10:50 総会
11:00～12:00 一般講演
12:00～13:20 休憩
13:20～15:50 一般講演
16:00～17:00 特別講演
2月19日（木）10:00～12:00 一般講演

ポスター発表 4階展示ホール

2月18日（水）11:00～15:50
2月19日（木）9:30～12:00

懇親会

ホテルメトロポリタン盛岡本館4階「岩手・姫神」
2月18日（水）18:00～20:00（開場17:30）

会務連絡

- 一般講演の時間は10分（発表8分、質疑応答2分）とします（1鈴7分、2鈴8分、3鈴10分）。
- 講演用ファイル（ファイル名：番号_氏名）は、受付で動作を確認の上、下記の時間までに提出してください。
 - 2月18日午前講演：2月18日 10:30まで
 - 2月18日午後講演：2月18日 12:30まで
 - 2月19日午前講演：2月18日 16:00まで
- 講演終了者は次の講演の座長をお願いいたします。ただし、講演番号1、6、19の座長は事務局が務めます。
- ポスター発表の方は各自説明時間（30分程度）を明示してください。
- プログラムどおり運営したいと思いますのでご協力をお願いいたします。
- 講演・ポスターの写真・ビデオ等による撮影ならびに許可のない講演内容の引用などは一切ご遠慮ください。

北日本病害虫研究会

令和8年（2026年）2月

第1日目（2月18日）
開会
一般講演（11:00～15:50）○印 発表者

1. 紋枯病防除箱施用剤によるイネ紋枯病防除効果とインターバル防除への適用性
-----○増川 光¹・土橋 洋平²・中南 博³・千葉 克彦³・千葉 丈³・藤原 靖史³・武田 真一⁴
1) 協友アグリ・2) クミアイ化学・3) JA 全農いわて・4) 元JA 全農いわて
2. 仙台湾沿岸地域におけるニカメイガの発生消長-----○八木沼 湧太¹ 1) 宮城仙台普及
3. 秋田県におけるハスモンヨトウに対する殺虫剤の感受性-----○高橋 良知¹ 1) 秋田農試
4. 宮城県北部におけるダイズ吸実性カメムシ類の発生消長と被害要因の分析
-----○楠原 弘己¹・門間 由美子¹ 1) 宮城古川農試
5. ダイズ紫斑病菌のピリダクロメチルに対する感受性検定法と感受性ベースライン
-----○倉橋 真¹・中野 孝明¹ 1) 住友化学株式会社

休憩（12:00～13:20）

6. ジャガイモにおけるトマトキバガの寄生について-----○佐々木 太陽¹・山名 利一¹ 1) 道総研中央農試
7. トマトにおける青色光照射による微小害虫抑制効果の検証
-----○駒形 奏之¹・関根 崇行¹・大江 高穂¹ 1) 宮城農園研
8. 園場マージンへの緑地帯設置による露地園芸品目の害虫抑制効果
-----○関根 崇行¹・大江 高穂¹・駒形 泰之¹ 1) 宮城農園研
9. キャベツ根こぶ病菌に対する数種キャベツ品種の抵抗性評価および土壤中菌密度に対する影響
-----○羽田 厚¹・畠山 勝徳²・清水 元樹³ 1) 岩手農研セ県北・2) 岩手大農・3) 岩手生工研
10. イチゴ炭疽病菌 *Colletotrichum fructicola* と *C. aenigma* の各種殺菌剤による防除効果
-----○格井 晶吾¹ 1) 宮城農園研
11. ニンニクさび病の効率的防除のためのインピルフルキサム水和剤の活用法
-----○岩間 俊太¹ 1) 青森産技農林総研
12. タマネギりん茎個体情報を活用した腐敗症状の非破壊検出モデルの作成
-----○川邑 菜々美¹・山内 大輔¹・日浦 聰子¹・山口 千仁¹ 1) 農研機構東北農研
13. 静電ノズルを使用したたまねぎのネギアザミウマ防除の散布水量の削減
-----○森 万菜実¹・下間 悠士¹ 1) 道総研北見農試
14. たまねぎのネギアザミウマに対する育苗箱灌注を用いた省力的防除方法
-----○下間 悠士¹・森 万菜実¹ 1) 道総研北見農試
15. インスタンスセグメンテーションを利用したタマネギのネギアザミウマ食害判定法の開発
-----○大澤 央¹・根岸 尚矢²・佐野 正和³・林 怜史⁴・秋野 聖之¹・達 瑞枝⁵
1) 北大院農・2) 北大農・3) 農研機構北農研・4) 酪農学園大・5) 農研機構東北農研
16. ネギにおけるマルチローターを用いた高濃度少量散布のネギハモグリバエバイオタイプBに対する防除効果
-----○蛭川 泰成¹・高橋 良知¹ 1) 秋田農試
17. ネギコガ初期世代の発生時期及びコナガフェロモントラップによるネギコガ発生予察の可能性
-----○鈴木 敏男¹ 1) 岩手植防
18. 2025年岩手県におけるカメムシ類によるダイズ子実被害の多発事例
-----○大友 令史¹・猫塚 修一²・飯村 茂之¹ 1) 岩手植防・2) 岩手防除所

特 別 講 演 (16:00~17:00)

「有機農業における病害抑制の研究から見えてきた

土壌中の微生物・ウイルスの役割と病害防除応用への期待」

高橋 英樹 教授

(国立大学法人東北大学 大学院農学研究科)

第2日目 (2月19日)

一 般 講 演 (10:00~12:00) ○印 発表者

19. ニホンナシにおけるコンピューターNの処理とナシヒメコンの追加処理によるナシヒメシンクイに対する防除効果
-----○佐々木 正剛¹・佐藤 寛人² 1) 福島植防飯坂・2) 福島農総セ果樹研
20. 福島県県南地域におけるナシヒメシンクイ *Grapholita molesta* の発生消長
-----○中村 傑¹・佐藤 賢治^{2,3}・阿部 兼太郎²
1) 福島県県南農林事務所・2) 福島県農業総合センター農業短期大学校・3) 現在: 株式会社南東北クボタ
21. 福島県のナシ樹でのチャノキイロアザミウマによる被害葉調査-----○阿部 初紀¹ 1) 福島農総セ果樹研
22. 2025年におけるチャバネアオカムシ越冬後成虫の大量飛来によるリンゴ果実被害の発生要因
-----○秦 広和¹・菅野 夢¹・吉田 優里²・猫塚 修一¹ 1) 岩手防除所・2) 岩手農研セ
23. コルト顆粒水和剤の青森県産りんごのナシマルカイガラムシに対する圃場での効果
-----○児玉 洋¹・錦 博登¹ 1) 日本農薬(株)
24. 各種殺虫剤に対するリンゴのナシマルカイガラムシの薬剤感受性
-----○木村 佳子¹・石栗 陽一¹・小笠原 南美¹ 1) 青森産技りんご研
25. 有効積算温度によるオウトウに寄生するウメシロカイガラムシの歩行幼虫発生時期の予測
-----○柏浦 侑喜¹・赤間 吉広¹ 1) 山形農総研セ園芸研
26. オウトウ褐色せん孔病菌の感染および発病に対する葉面濡れ時間の影響
-----○後藤 新一¹・赤間 吉広¹ 1) 山形農研セ園芸研
27. リンゴ苗木における根頭がんしゅ病に対する非病原性 *Rhizobium vitis* 水和剤の防除効果及び処理条件の検討
-----○八木橋 素良¹・十川 聰子²・金枝 恵¹・明星 亘俊³・寺田 壮志³
1) 青森産技りんご研・2) 青森産技野菜研・3) クミアイ化学工業(株)
28. 電解次亜塩素酸水のリンゴ病害に対する防除効果の検討
-----○平山 和幸¹・八木橋 素良¹・金枝 恵¹ 1) 青森産技りんご研
29. リンゴ褐斑病の早期発生に及ぼす前年秋期の発生量と展葉期間中の感染好適条件の影響
-----○猫塚 修一¹・佐藤 優²・秦 広和¹・菅野 夢¹ 1) 岩手防除所・2) 岩手農研セ

閉 会

ポスター発表（2月18～19日）

第1日目（11:00～15:50）

第2日目（9:30～12:00）

○印 発表者

- P 1. 補植用苗における葉いもの早期発生に与える要因解析-----○菅原 隆介¹・小関 彩恵子¹ 1) 山形農総研セ
P 2. 「つや姫」における紋枯病防除要否判断基準の作成
-----○小関 彩恵子¹・菅原 隆介¹・森谷 真紀子^{1,2} 1) 山形農研セ・2) 現在：山形県農林水産部
P 3. 宮城県における斑点米カメムシ類の発生動向と主要加害種の変化-----○日向 真理子¹・我妻 因信¹ 1) 宮城防除所
P 4. 宮城県県南部におけるクモヘリカメムシの多発生と斑点米被害
-----○門間 由美子¹・楠原 弘己¹ 1) 宮城古川農試
P 5. 山形県におけるクモヘリカメムシの発生分布域
-----○福士 桀人¹・寒河江 康太²・横田 誠³・菅原 直人¹
1) 山形防除所・2) 山形防除所庄内・3) 山形農総研セ
P 6. 山形県におけるアカスジカスミカメのジノテフランに対する感受性
-----○山本 優里^{1,2}・横田 誠² 1) 現在：山形防除所・2) 山形農総研セ
P 7. ネオニコチノイド剤を使用しない防除に畦畔のイネ科雑草抑制管理を組み合わせた斑点米カメムシ類対策実証
-----○横田 誠¹・山本 優里^{1,2} 1) 山形農総研セ・2) 現在：山形防除所
P 8. 水田畦畔における自走式刈払い機での高刈り管理が畦畔の植生と斑点米カメムシ類の発生にもたらす影響
-----○和嶋 裕也¹・加藤 真城¹・千葉 克彦^{1,2} 1) 岩手農研セ・2) 現在：全農いわて
P 9. ダイズの莢の伸長程度とダイズ紫斑病の防除効果の関係の検討
-----○小黒 まゆ¹・狐塚 慶子¹ 1) 宮城古川農試
P 10. ダイズ紫斑病防除におけるTPN水和剤の効果的な散布時期の検討
-----○八桁 直輝¹・岩館 康哉¹・前澤 正浩²・齊藤 光彦²
1) 岩手農研セ・2) 株式会社エス・ディー・エス バイオテック
P 11. テンサイ褐斑病抵抗性極強品種におけるテンサイ褐斑病の省力防除
-----○東岱 孝司¹・野津 あゆみ²・森 万菜実³
1) 道総研十勝農試・2) 道総研中央農試・3) 道総研北見農試
P 12. 2025年の山形県におけるオオタバコガの発生消長と休眠蛹の発生時期
-----○寒河江 康太¹・長谷川 耕太¹・高部 真典¹・山本 優里² 1) 山形防除所庄内・2) 山形防除所
P 13. 明視野・暗視野・位相差および微分干渉観察法によるうどんこ病菌分生子内フィブロシン体の視認性比較
-----○岩館 康哉¹・○廣田 志紀子² 1) 岩手農研セ・2) 岩手防除所
P 14. 1日の気温・湿度経過がトマトうどんこ病の感染に及ぼす影響
-----○岩館 康哉¹・古屋 廣光²・上島 仁³ 1) 岩手農研セ・2) 元秋田県大生資・3) ISP
P 15. 1日の気温・湿度経過がイチゴうどんこ病の感染に及ぼす影響
-----○西村 文宏¹・○古屋 廣光²・上島 仁³・片山 貴博¹ 1) 香川農試・2) 元秋田県大生資・3) ISP
P 16. 黒色のみを利用した粘着トラップに対するトマトキバガ成虫の誘引性質-----○村上 珠利¹ 1) 岩手農研セ
P 17. ヒラズハナアザミウマに対するボーベリア バシアーナ剤と化学合成殺虫剤の混用による殺虫効果の向上
-----○清川 僚¹ 1) 青森産技セ野菜研
P 18. 複数種天敵放飼施設におけるPCRを用いたタイリクヒメハナカメムシのスワルスキーカブリダニ捕食の検出
-----○板橋 建¹・大江 高穂¹・駒形 泰之¹・関根 崇行¹ 1) 宮城農園研
P 19. 北海道におけるニセダイコンアブラムシの越冬法-----○佐々木 大介¹ 1) 道総研上川農試
P 20. 青森県の春タマネギ・春ネギ栽培におけるオオムギ・ソバ混播間作によるネギアザミウマ密度抑制効果と収量・品質への影響
-----○對馬 佑介¹・木村 勇司¹・石岡 将樹² 1) 青森産技セ農林総研・2) 青森産技セ野菜研
P 21. 宮城県の秋冬ねぎにおけるシロイチモジヨトウ (*Spodoptera exigua*) の発生状況について
-----○伊藤 博祐¹ 1) 宮城防除所
P 22. ネギ葉枯病の先枯れ・斑点病斑が秋冬ネギの収量と品質に及ぼす影響
-----○齋藤 隆明¹・藤井 直哉¹・渡辺 恭平^{1,2} 1) 秋田農試・2) 現在：秋田防除所
P 23. ニンニク春腐病に対する2品種間での感受性と気象が発病に及ぼす影響の比較
-----○十川 聰子¹・近藤 亨¹ 1) 青森産技野菜研
P 24. 富山県のアスパラガス伏せ込み促成栽培における若茎および根の褐変・腐敗症状
-----○高川 祐輔¹・松岡 淳一² 1) 富山農総セ園研・2) 農研機構中農研

P25. プラズマガスによる土壤中 *Fusarium* 属菌殺菌の有効成分と処理時間の検討

-----○宮下 優平¹・佐々木 渉太²・菅原 敬³・金子 俊郎²・高橋 英樹¹
1) 東北大院農・2) 東北大院工・3) 山形庄内農普

P26. プラズマ水処理土壤における *Fusarium* 属菌数の減少を伴うトルコギキョウ立枯れ症状の軽減と土壤メタボローム解析

-----○高橋 英樹¹・宮下 優平¹・佐々木 渉太²・菅原 敬³・金子 俊郎²
1) 東北大院農・2) 東北大院工・3) 山形庄内農普

P27. アジサイ炭疽病の UV-B ランプ照射による抑制の検証

-----○戸田 武¹・高橋 剛² 1) 秋田県大生資・2) (合) ピボット

P28. ナシ花腐細菌病の発病率の品種間差と多目的防災網による防除効果

-----○長谷川 拓也¹・堀 清人¹・根津 潔¹ 1) 新潟農総研園芸研

P29. 福島県における開花期のリンゴ褐斑病防除薬剤

-----○小松 健太郎¹・日下部 翔平¹ 1) 福島農総セ果樹研

P30. リンゴ褐斑病に対するセルロースナノファイバーの防除効果

-----○日下部 翔平¹・小松 健太郎¹ 1) 福島農総セ果樹研

P31. リンゴ褐斑病に対するりんご開花期前後の生育ステージ別感受性

-----○佐藤 優¹ 1) 岩手農研セ

P32. 切り返し剪定痕でのリンゴ腐らん病に対するチオファネートメチルペースト剤の防除効果

-----○美濃 健一¹ 1) 道総研中央農試

P33. 福島県における 2024 年および 2025 年のツヤアオカヘムシの発生の特徴

-----○藤田 剛輝¹ 1) 福島防除所

P34. りんご栽培における土着カブリダニ類の発生量を踏まえたハダニ類防除判断と果実被害

-----○吉田 優里¹・加藤 真城¹ 1) 岩手農研セ

P35. マメコバチ巣筒の低温長時間浸漬によるツツハナコナダニの防除

-----○齊藤 美樹¹・○佐藤 翠音¹ 1) 道総研中央農試

P36. ハウス栽培オウトウのナミハダニに対するミヤコカブリダニパック製剤の効果と放出時期 (第 3 報)

-----○佐藤 唯凪¹・伊藤 慎一^{1,2}・高部 真典^{1,3}

1) 山形防除所・2) 現在: 山形西村山普及課・3) 現在: 山形防除所庄内